

中心市街地活性化セミナー

テーマ

市民・企業が主役のまちづくり

～札幌に学ぶ、市民・企業と育む官民連携の未来図～

9.16 火
15:30～17:00
遠鉄百貨店新館
スカイテラス

現在、浜松市では中心市街地活性化計画を策定しており、2026年度以降は計画に基づいた事業を進めてまいります。中心市街地の活性化にあたっては、官民連携での取り組みが不可欠です。そこで、今回は札幌市から林氏、岡田氏をお招きし、多様な官民連携によるまちづくりについてお伺いします。札幌の事例から、浜松での官民連携のまちづくりについて一緒に考えてみませんか？

講師

林 匡宏 氏

札幌学院大学 経済経営学部 特任教授 /
株式会社commons fun 代表取締役

1983年大阪府吹田市生まれ。札幌市立大学大学院でデザイン学を専攻。大手設計事務所に入社後、全国の都市・地域の将来ビジョン計画に携わる。特に渋谷駅周辺の都市デザインなど大規模プロジェクトにも携わる。

2018年に独立後は、札幌市にて公共空間活用のための官民連携組織「SAPPORO PLACEMAKING LABO」を設立し、百合が原公園のプロデュースを手掛けるなど、まちづくりコーディネーターとして活躍している。



岡田 吉伸 氏

株式会社SOUSHINホールディングス 代表取締役

1981年札幌市生まれ。大学卒業後大手ゼネコンに就職。多くのプロジェクトを経験する。東日本大震災を岩手県にて被災し、その後の復興計画にも参画。2020年に株式会社創伸建設を事業承継し、代表取締役役に就任。事務所ビル、ホテル、福祉施設等を中心に事業を拡大。“次の誰かのために”の理念のもと、再創(不動産事業)、創電社(電気機械業)、SBO(バックオフィス業)を設立し、2025年6月ホールディングス化。park-PFI事業やまちづくり会社を数社設立するなど、官民連携事業も積極的に取り組んでいる。



プログラム

講演

『札幌の事例から学ぶ、まちづくりの事業性のヒント』

エリアマネジメントとプレイスメイキングの専門家である林氏が、札幌で実践する公共空間を活用したまちづくりの具体的な成功事例を紹介します。行政、企業、市民がどのように連携し、魅力的な場所を創り出しているのか、そのプロセスと事業性を詳しく解説します。

パネルディスカッション

『まちを動かす連携のカタチ』 ～浜松での実践と、官民連携の可能性～

パネリスト：林 匡宏氏、岡田 吉伸氏、
浜松市内のまちづくり関係者

林氏の講演を受けて、岡田氏も加わり、浜松のまちづくりを牽引する関係者と共に、浜松の特色や多様な産業といった資源を活かした、市民、企業、行政がそれぞれの立場でどのように連携し、具体的なアクションにつながるか、実践的な視点から議論を交わします。

お申込み

WEBフォームにてお申込みください

締切：9月11日（木）

問合せ

浜松市産業部産業振興課

053-457-2285

shougyo@city.hamamatsu.shizuoka.jp

WEBフォーム

